

オンライン経営説明会

2022年3月2日

株式会社レスターホールディングス



本日のアジェンダ

- | | | |
|----------------------|--------|---------------------------|
| 1. 当社の取り組みと将来ビジョン | 代表取締役 | 高橋忠仁 |
| 2. 2022年3月期第3四半期決算概況 | 代表取締役 | 三好林太郎 |
| 3. 事業戦略説明 | | |
| ① デバイス事業の取り組み | 代表取締役 | 山口秀哉
(レスターエレクトロニクス 社長) |
| ② エネルギー事業の取り組み | 常務執行役員 | 今野宏晃
(バイテックエネスタ 社長) |
| 4. 質疑応答 | | |

当社の取り組みと 将来ビジョン

代表取締役 高橋忠仁



レスターグループ 経営理念

ミッション

情報と技術で、新しい価値、サービスを創造・提供し、
社会の発展に貢献します

ビジョン

あらゆるニーズに対応できる
「エレクトロニクスの情報プラットフォーム」を目指します
世界・社会貢献・共創と革新

バリュー

- ・多様な考えを受け入れ、共創を通じて、新しい文化や価値を創り出します
- ・常に高い目標を掲げて、革新的な発想と情熱で、挑戦し続けます
- ・活躍の場を世界へと広げ、持続可能な社会の発展に貢献します



グループ会社情報



レスターホールディングス

資本金 43.8億円
 純資産 762億円
 連結売上高 3,238億円
 連結営業利益 62億円
 連結従業員数 2,512人
 (2020年度)

半導体及び電子部品事業			調達事業	電子機器事業		環境エネルギー事業			
デバイス		EMS	調達	電子機器	システム機器	エネルギー	新電力	植物工場	
レスター エレクトロニクス	レスターデバイス	PALTEK	CUTECH	レスター サプライチェーン ソリューション	レスター コミュニ ケーションズ	レスター キャストック	バイテック エネスタ	V-Power	バイテック ベジタブル ファクトリー
代表:山口 秀哉	代表:中村 総一	代表:高橋 忠仁	代表:白 永鉉	代表:中山 重美	代表:尾崎 享	代表:山口 秀哉	代表:今野 宏晃	代表:小室 正則	代表:梶 純一
デバイス販売 エンジニアリング 信頼性試験	デバイス販売	半導体販売 デザインサービス ソリューション提供 FPGA取り扱い	電子機器の 受託製造 サービス (EMS)	調達 トレーディング サービス	電子機器販売 設計・施工 ・保守	NFC※ 関連機器 開発・製造 ・販売 ※非接触通信技術	再生可能 エネルギーによる 発電	電力の供給や 売買の仲介 コンサルティング業	完全閉鎖型 植物工場



レスターグループの機能

顧客群(資産)

電機メーカー

国・自治体

放送

産学・文教

医療

小売

中食

他

商社機能

多彩な半導体・電子部品ラインナップ
イメージセンサー、5Gモジュール、
高性能サーバー等
日本中の製造業との取引実績
国内・海外サポート体制

製造機能

非接触端末の製造
自社工場（韓・中・越）
EMSコーディネーター

レスターの事業群(武器)

事業間シナジー・他社との共創

自治体戦略
技術・製造パートナー

完成品/端末機器 + 保守

映像・音・通信 特殊計測機器、
決済端末の拡販 他

環境エネルギー

完全閉鎖型植物工場
外食・中食向けの業務用
メガソーラー
国内50カ所・台湾20カ所超
中小型風力
特色のある新電力事業

技術領域

システムインテグレーション
セキュリティ・モジュール化



事業

レスタグループの方向性 = 社会課題への対応 = 差別化要素

①のゾーン

ソリューション

機器

モジュール

CPU、
FPGA・・・

半導体

センサー、
メモリー
・・・

カーボンニュートラル
<太陽光・風力発電>

食糧危機
フードロス
<植物工場>

防災
レジリエンス

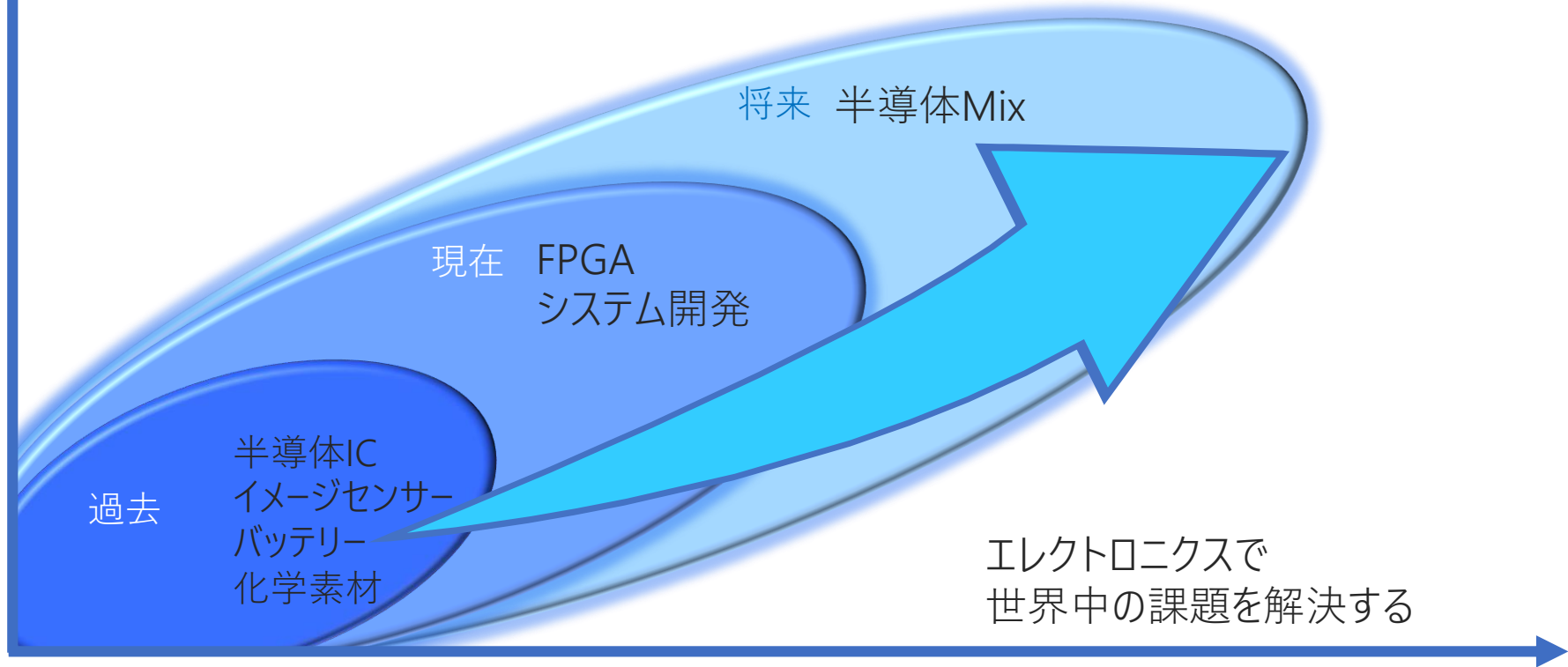
②のゾーン

年次



半導体及び電子部品事業

事業



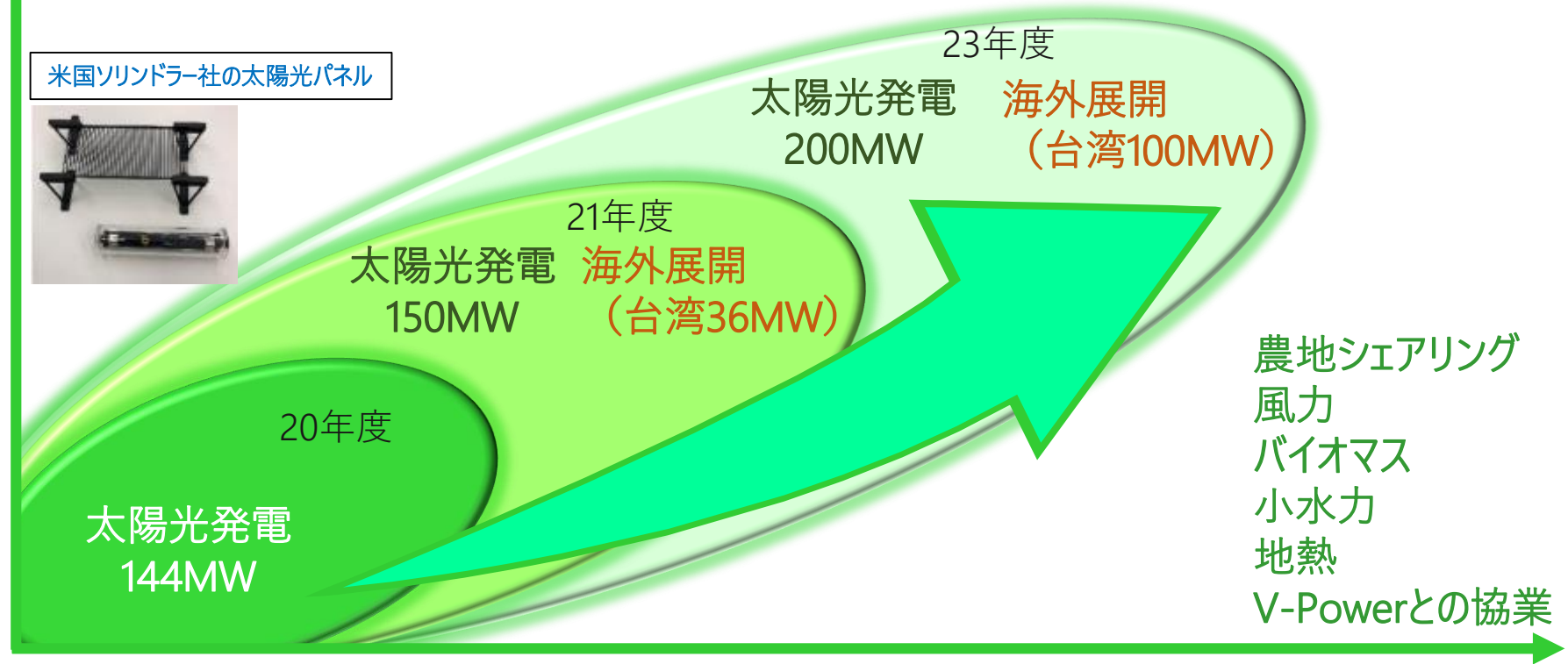
年次



事業

カーボンニュートラルの取り組み

米国ソリンドラ社の太陽光パネル



年次



プライム市場における対応状況 (サステナビリティ・*TCFD関連)

当社は「プライム市場」銘柄に選定され、サステナビリティに関連する取り組み、並びにカーボンニュートラル、TCFDへの取り組みを進め、具体的な内容を今後開示してまいります

2022年4月

東証一部

プライム市場

プライム市場における課題対応

サステナビリティへの取り組み策定

- マテリアリティの特定とKPI策定
- 基本ポリシー策定

CO₂排出量削減、TCFD開示対応

- CO₂排出量算定 (Scope1~3)
- CO₂排出削減目標策定
- TCFDに基づく開示対応

2022年6月

KPIに基づく
取り組みスタート
各種開示書類にて開示
コーポレートガバナンス報告書等

*TCFD：気候関連財務情報開示タスクフォース (Task Force on Climate-related Financial Disclosures)



社会貢献：財団共同設立

～ 社会貢献への想い～

農林水産業における技術の発展の一助へ
「食」に関わる課題解決に向けた技術の進化を広く支援
グローバル社会の持続可能な発展に寄与

一般財団法人

Konno&レスター財団



品種改良



生産技術

助成対象テーマ：農林水産業における革新的・先進的技術に関する研究

- ✓ 植物工場／施設園芸
- ✓ 海洋養殖／陸上養殖
- ✓ 環境保全とバランスの取れた林産技術

2022年 1月20日設立、2月から助成対象案件募集活動開始

<https://kr-fd.or.jp/>

本件に関するプレスリリースはこちら > <https://www.restargp.com/news/3541/>

多様な人材活用の取り組み：アスリート支援

■スポーツ支援 & 多様な人材支援

レスリング



前田 明都 鈴木 絢大 松雪 泰成

デフ陸上



堀口 昂誉

車いすラグビー



日向 顕寛

ろうあ者卓球



長田 恵

経営理念
バリュー

- ・多様な考えを受け入れ、共創を通じて、新しい文化や価値を創り出します
- ・常に高い目標を掲げて、革新的な発想と情熱で、挑戦し続けます
- ・活躍の場を世界へと広げ、持続可能な社会の発展に貢献します

2022年 3 月期第 3 四半期 決算概況

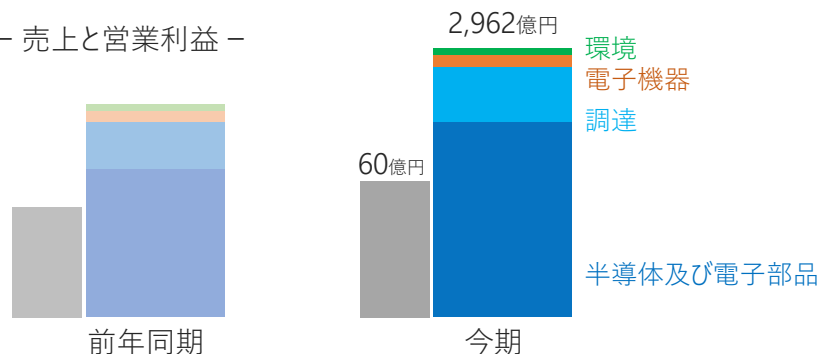
代表取締役 三好林太郎



連結業績ハイライト

単位：百万円	2021年3月期 第3四半期		2022年3月期 第3四半期		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	234,827	—	296,260	—	61,432	26.2%
売上総利益	19,163	8.2%	22,153	7.5%	2,989	15.6%
販売管理費	14,279	6.1%	16,090	5.4%	1,811	12.7%
営業利益	4,884	2.1%	6,062	2.0%	1,178	24.1%
経常利益	4,346	1.9%	5,520	1.9%	1,173	27.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,267	3.1%	5,416	1.8%	△1,850	△25.5%

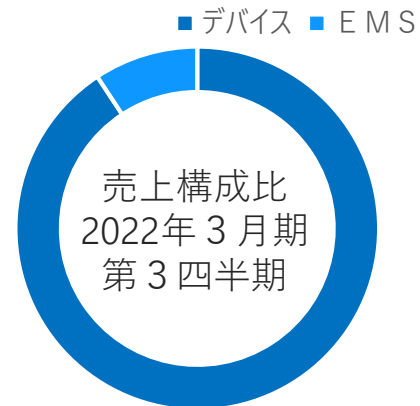
－ 売上と営業利益 －



セグメント別ハイライト①

■ 半導体及び電子部品事業

単位：百万円	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	前年同期比	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	165,540	217,356	51,816	31.3%
セグメント利益	5,557	6,232	675	12.2%



■ 調達事業

単位：百万円	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	前年同期比	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	52,007	63,049	11,042	21.2%
セグメント利益又は損失(△)	△ 158	517	676	-



セグメント別ハイライト②

■ 電子機器事業

■ 電子機器 ■ システム機器

単位：百万円	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	前年同期比	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	12,315	13,475	1,159	9.4%
セグメント利益又は損失(△)	148	△42	△191	-



■ 環境エネルギー事業

■ エネルギー ■ 新電力 ■ 植物工場

単位：百万円	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	前年同期比	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	7,127	6,768	△359	△5.0%
セグメント利益又は損失(△)	△32	265	297	-



連結貸借対照表

PALTEKの連結子会社化や増収に伴う売掛金の増加、棚卸資産の増加、及び短期借入金が増加等

(単位：百万円)

	2021年3月末	2021年12月末
資産の部		
流動資産	146,133	180,750
固定資産	44,252	52,630
資産合計	190,385	233,380
負債純資産の部		
流動負債	94,095	133,959
固定負債	20,031	18,559
純資産	76,258	80,861
負債純資産合計	190,385	233,380
自己資本比率	38.6%	32.9%



2022年3月期通期見通しと進捗

2022年2月10日に通期業績見通しを修正いたしました。

単位：百万円	前回予想 (2021年5月12日発表)	今回予想 (2022年2月10日発表)	増減率	2022年3月期 第3四半期	進捗率
売上高	350,000	400,000	14.3%	296,260	74.1%
営業利益	6,500	7,000	7.7%	6,062	86.6%
経常利益	7,000	6,000	△14.3%	5,520	92.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,000	6,000	20.0%	5,416	90.3%



株主還元方針と増配のお知らせ

＝ 連結業績予想に基づき財務の安定性を重視 ＝

- ・ 配当の実施や自己株式取得の検討等、株主への還元向上
- ・ 積極的な戦略投資とともに、適正な資本配分の継続的な見直しを進める
- ・ 一層の利益の拡大と資本効率の改善を通じた企業価値向上の実現を目指す

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回配当予想 (2021年11月11日公表)	45円00銭 (普通配当 40円00銭) (記念配当 5円00銭)	45円00銭	90円00銭 (普通配当 85円00銭) (記念配当 5円00銭)
今回配当予想 (2022年2月10日公表)	同上	55円00銭 (普通配当 45円00銭) <u>(特別配当 10円00銭)</u>	100円00銭 (普通配当 85円00銭) (記念配当 5円00銭) (特別配当 10円00銭)



グループマネジメント強化

■ 経営統合におけるPMI活動

全社レベルでの戦略/企画機能の拡充
(IT/DX・物流・IR/PR・SDGs・CVC等)

- 情報資産：グループのあらゆる情報の一元化
- 人財活性：ローテーション・育成・採用

グループマネジメント強化によるシナジー効果の発揮

デバイス事業の取り組み

代表取締役 山口秀哉
(レスターエレクトロニクス社長)



グループ・パートナー連携を活かした画像系ビジネスへの取り組み



民生機器



放送・映像



産業機器



株式会社レスターエレクトロニクス

SOLUTION SUPPLIER
PALTEK

半導体をベースにした営業力・提案力・開発力



パートナー企業との連携 (HW & SW 設計)



SORD

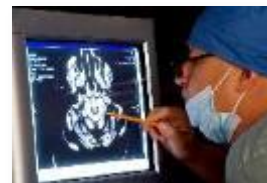
PRIVATECH



車載



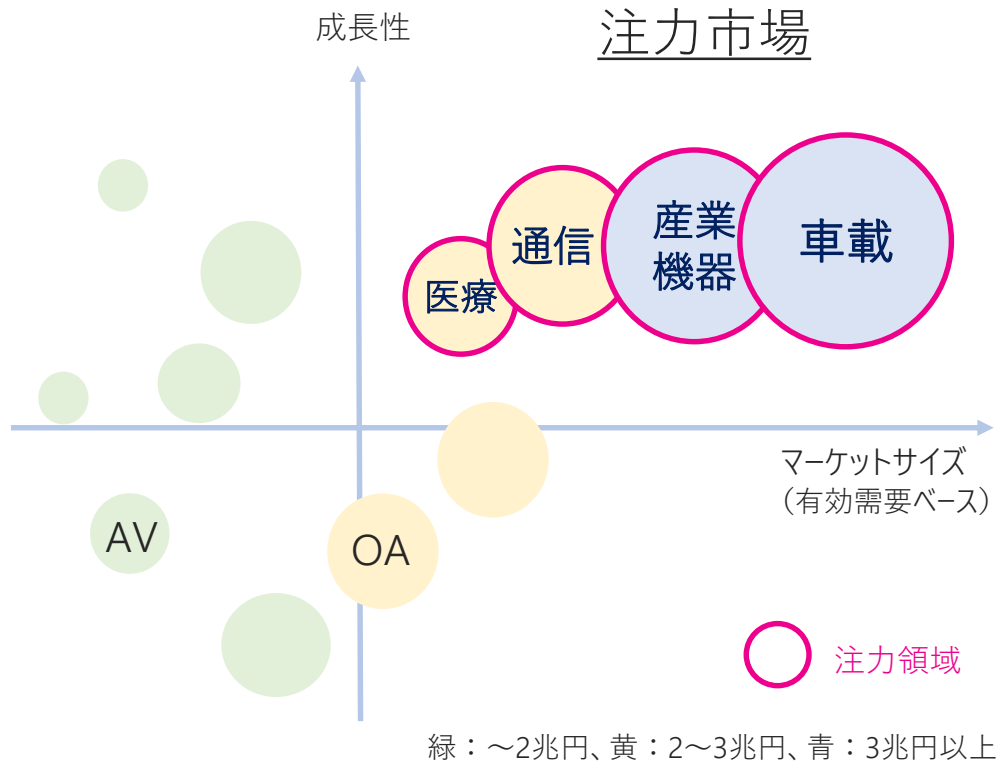
公共インフラ



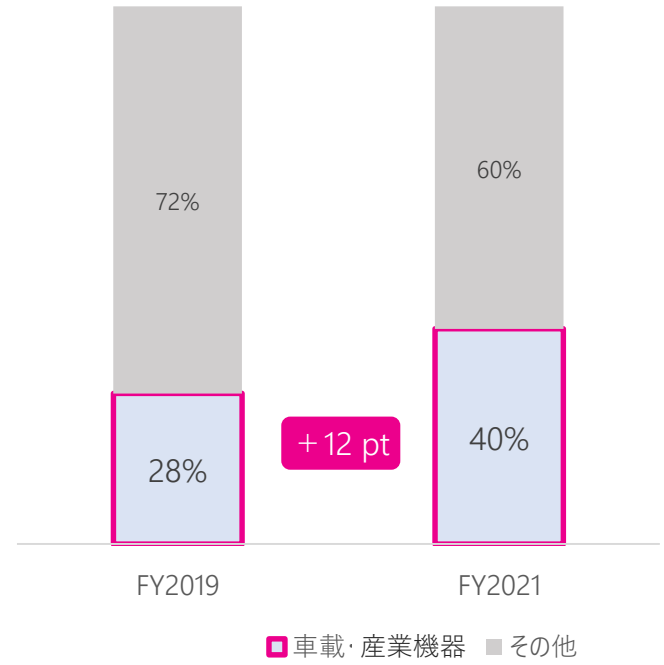
医療



車載・産業機器系への注力による事業拡大



売上構成 車載・産業機器向けの伸長



車載系の取り組み



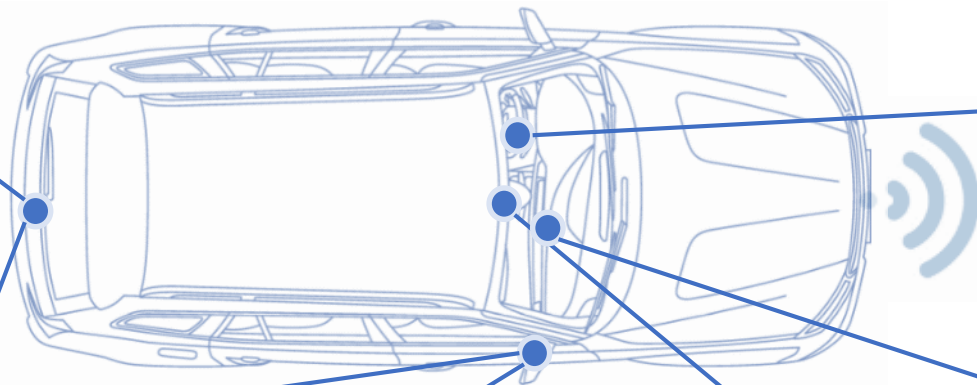
車載：様々な画像アプリケーションへの取り組み

クルマにおける画像センシング向けソリューション

高画素、高感度、高フレームレート、LFM（フリッカー対策）など高機能ニーズ拡大
～様々な車載アプリケーションに対してTier1メーカーへの取り組み強化推進・案件獲得へ～



リアビューカメラ



ドライバーモニタリングシステム

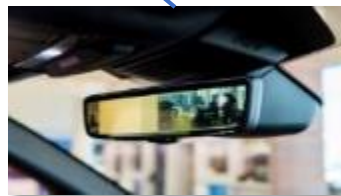


サラウンドビューカメラ

(前方・後方・側方など複数の搭載カメラにて画像処理)



カメラモニタリングシステム



インテリジェントリアビューモニターシステム



ドライブレコーダー



車載：様々な画像アプリケーションへの取り組み

画像センシングにおけるクロスセル/モジュール化提案

イメージ
センサー

ビデオ
I/F

メモリ

CPU
SoC

各種
センサー

ディスプ
レイ

AI

...

個別商材の販売

イメージセンサ



クロスセルによる最適化提案

イメージセンサ・ビデオI/Fクロスセル



サラウンドビューカメラ (SVC)

モジュール化含めた付加価値提供

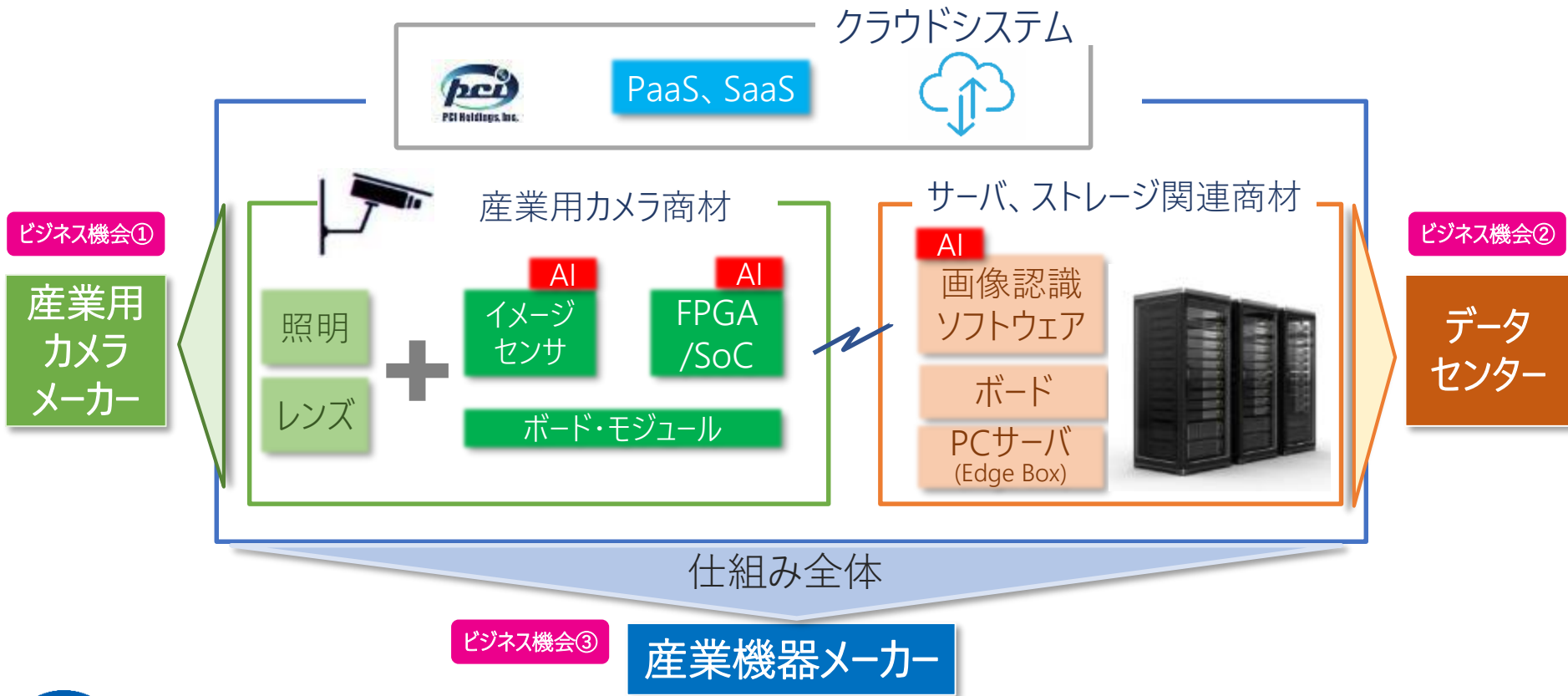
レベル4自動運転用カメラモジュール開発



フロントセンシングカメラ

産業機器系 マシンビジョンへの取り組み

インテリジェント・カメラソリューション（マシンビジョン）のプラットフォーム



産業機器向け：レスターが提供するインテリジェントカメラソリューション

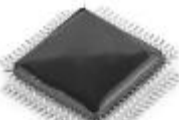
従来のマシンビジョンシステム



or



イメージセンサ



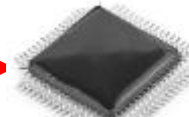
FPGA
(ISP/IF Bridge)

ISP/IF BridgeとしてFPGA活用

AIのEdge化ニーズ

- ・検査工程の機械化
- ・不具合検出のリアルタイム性
- ・通信軽減
- ・セキュリティ強化

イメージセンサーにAI搭載：開発工数軽減



(出力)

AI機能搭載イメージセンサーによる開発工数の軽減

FPGAにAI搭載：フレキシブルなAIシステム活用



(出力)

より細かなユーザーニーズに応じたAIシステム構築が可能

インテリジェント・カメラソリューション（マシンビジョン）スキーム

■ レスターグループで一括対応



■ 実例

<u>試験機位置決め</u> <ul style="list-style-type: none">・検査針位置決め・キズ・打痕検査・寸法検査	<u>食品検査</u> <ul style="list-style-type: none">・成形不良検査	<u>食品検査</u> <ul style="list-style-type: none">・リカー漏れ検査
<u>リテール 物体認識</u> ・属性 <ul style="list-style-type: none">・人数カウント・在庫検知	<u>在荷確認システム</u> <ul style="list-style-type: none">・AGV侵入確認・AGV在荷確認・安全確認・AGV退出確認	<u>物流</u> <ul style="list-style-type: none">・パレタイズ・デパレタイズ

カメラプラットフォームにおけるFPGAの強み

多様なエンドカスタマーニーズへの対応

フレキシビリティ

例)

- 生産ラインの大型ロボットの目となるカメラ
- 微細な部品を実装する機械の目となるカメラ



ユーザ様の製品力向上に貢献

プログラマビリティ

例)

- 付加価値の高い機能をカメラに実装
- より多角的、高性能な検出を可能とするカメラに仕様変更

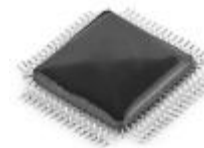


FPGAの強みを活かし
顧客価値の創出

Time to Market

開発コスト / 期間を短縮

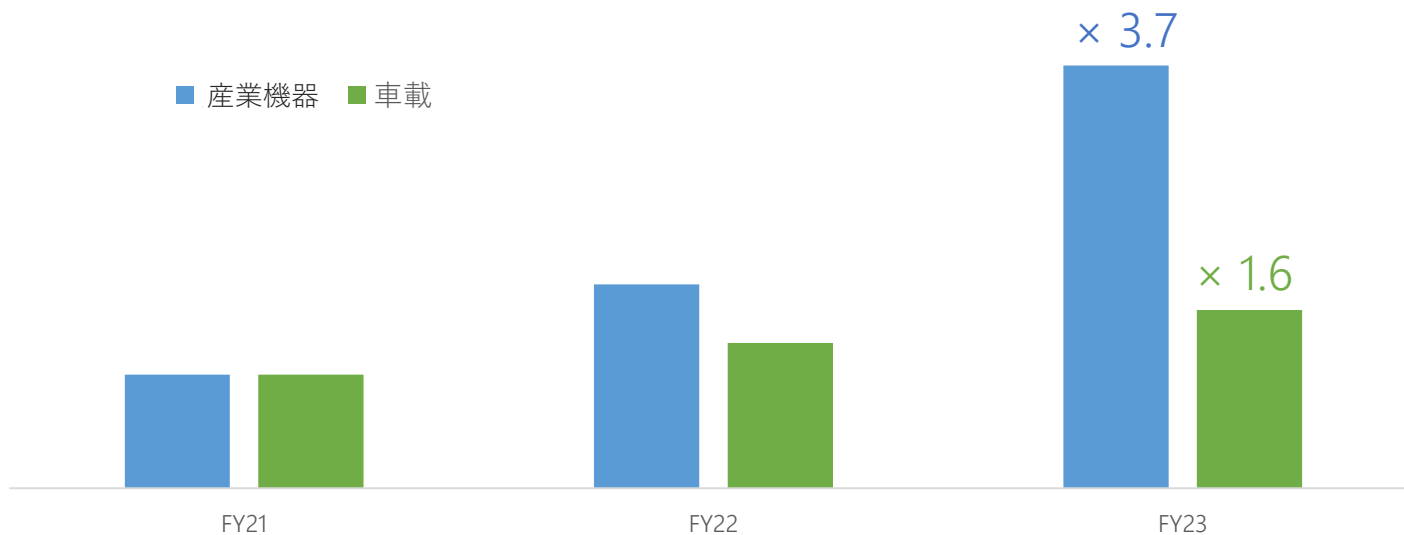
FPGA



注力領域で事業拡大

産業機器・車載領域で事業拡大

FY21を100とした場合の伸長率（倍）



SaaS系の取り組み

～スマートシティプロジェクト～

株式会社ウフルとの資本業務提携



株式会社ウフルとの資本業務提携

レスター エレクトロニクス・環境

災害対策	<ul style="list-style-type: none">・防災ポータル・防災対策室ソリューション・災害対策ドローン		産業	<ul style="list-style-type: none">・再生エネルギー発電・植物工場(小規模ユニット)・農業・製造IoT
避難所運営	<ul style="list-style-type: none">・触媒除菌脱臭機・太陽光発電・蓄電		観光	<ul style="list-style-type: none">・観光ポータル・観光マーケティング・無人受付・サイネージ
健康	<ul style="list-style-type: none">・高齢者見守りサービス・3密可視化システム		販路開拓	<ul style="list-style-type: none">・顧客管理システム・モバイルオーダーシステム
インフラ	<ul style="list-style-type: none">・レジリエンストイレ・給水ポータル・スマート街路灯		人材育成	<ul style="list-style-type: none">・ハッカソン/アイデアソン・遠隔講義システム

安心・安全な地域づくり

ウフル データ連携基盤

地方創生

2022年1月12日 当社発信リリースより



ウフルとの協業：自治体レジリエンスソリューション推進



政府標準都市OS
(データ連携プラットフォーム)

データ連携

データベース



レスターが取り組む事業領域 (ハードウェア・ソリューション・自治体連携)

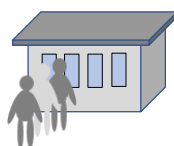
歪計(災害監視)

水位計
(洪水監視)

車両センサ
(交通監視)

人物センサ
(人流把握)

再生エネルギー



ハードとソフトの
強みを活かした
サービス提供

ポータル、
サイネージ等
サービス

- ・防災情報
- ・施設情報
- ・交通情報
- ・など

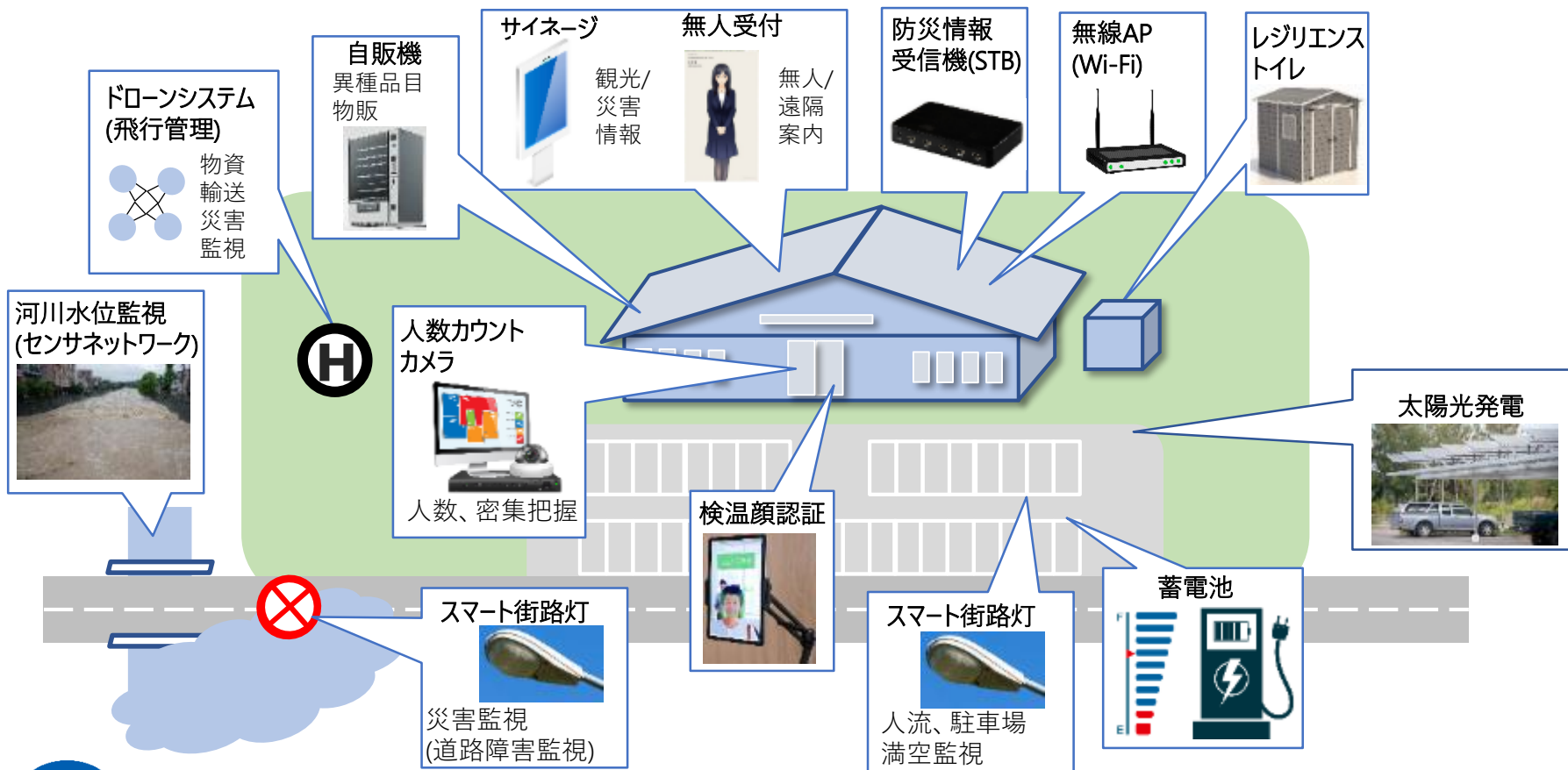
自治体レジリエンス
強化への貢献



スマートシティ
スーパーシティへの
取り組み加速

本件に関するプレスリリースはこちら > <https://www.restargp.com/news/3513/>

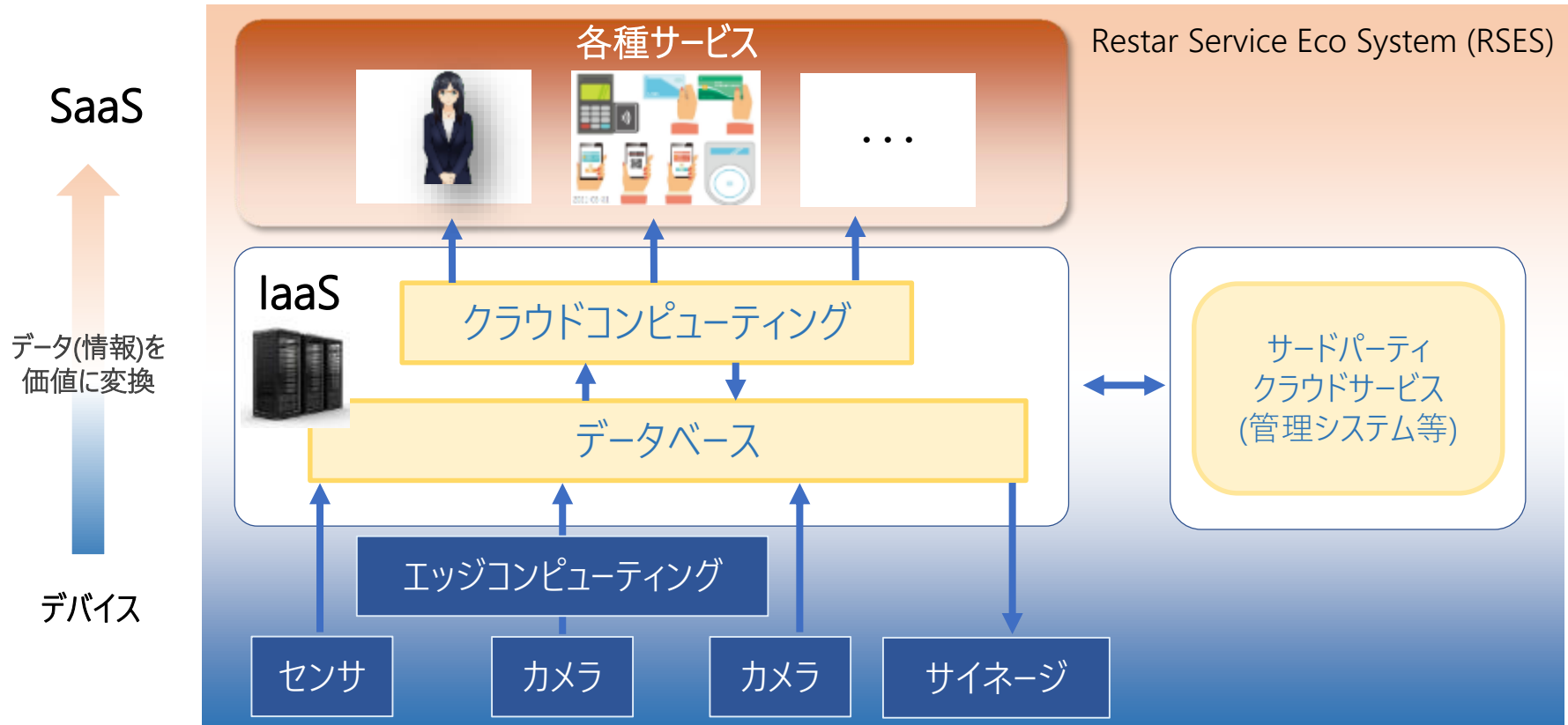
自治体向けソリューション提案事例



SaaS系の取り組み事例



Restar Service Eco System(RSES)





無人受付CHELULU

- キャラクター×インターフェースでデジタルともっと身近に、心地よいコミュニケーションが取れる対話型キャラクターエージェント
- 音声合成、認識による音声対話インターフェースはもちろん、個人識別機能を実装することで、「人に寄り添うおもてなし」を実現

AIを活用したキャラクター受付システムの運用

2021年8月サービス販売開始

(株) ソニー・ミュージックソリューションズ提供



レスターエレクトロニクス

顔認識・属性分析・個人認証の
クラウドサービス運用ビジネス

データ整備・運用・ログ管理
コスト最適化



コンテンツクリエイションに
最新のAI技術や音声合成を
組み合わせ

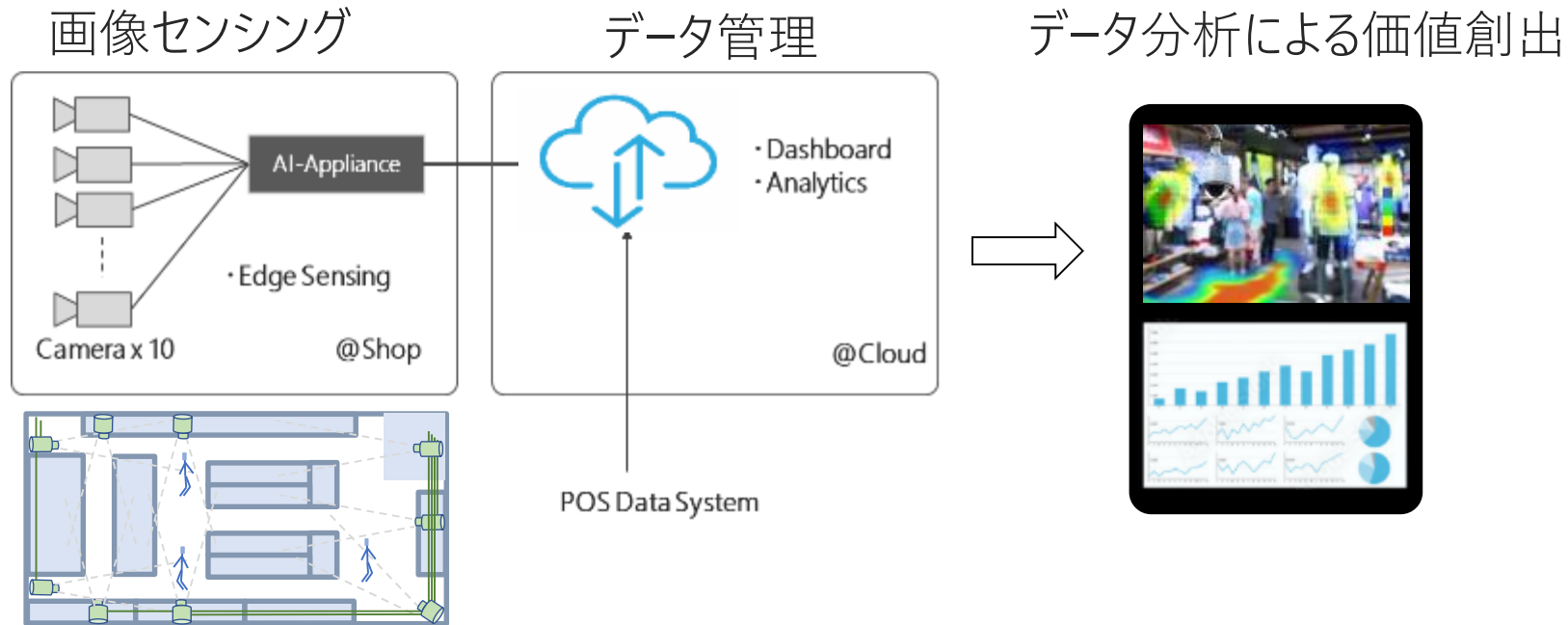
高精度顔認証
対話シナリオ設計ツール
音声認識・合成技術
タッチ操作不要のインターフェース機能

Restar Service Eco System (RSES)

共創ビジネス：ポストコロナにおける非対面・非接触への新たな取り組み



店舗向け 顧客分析サービス



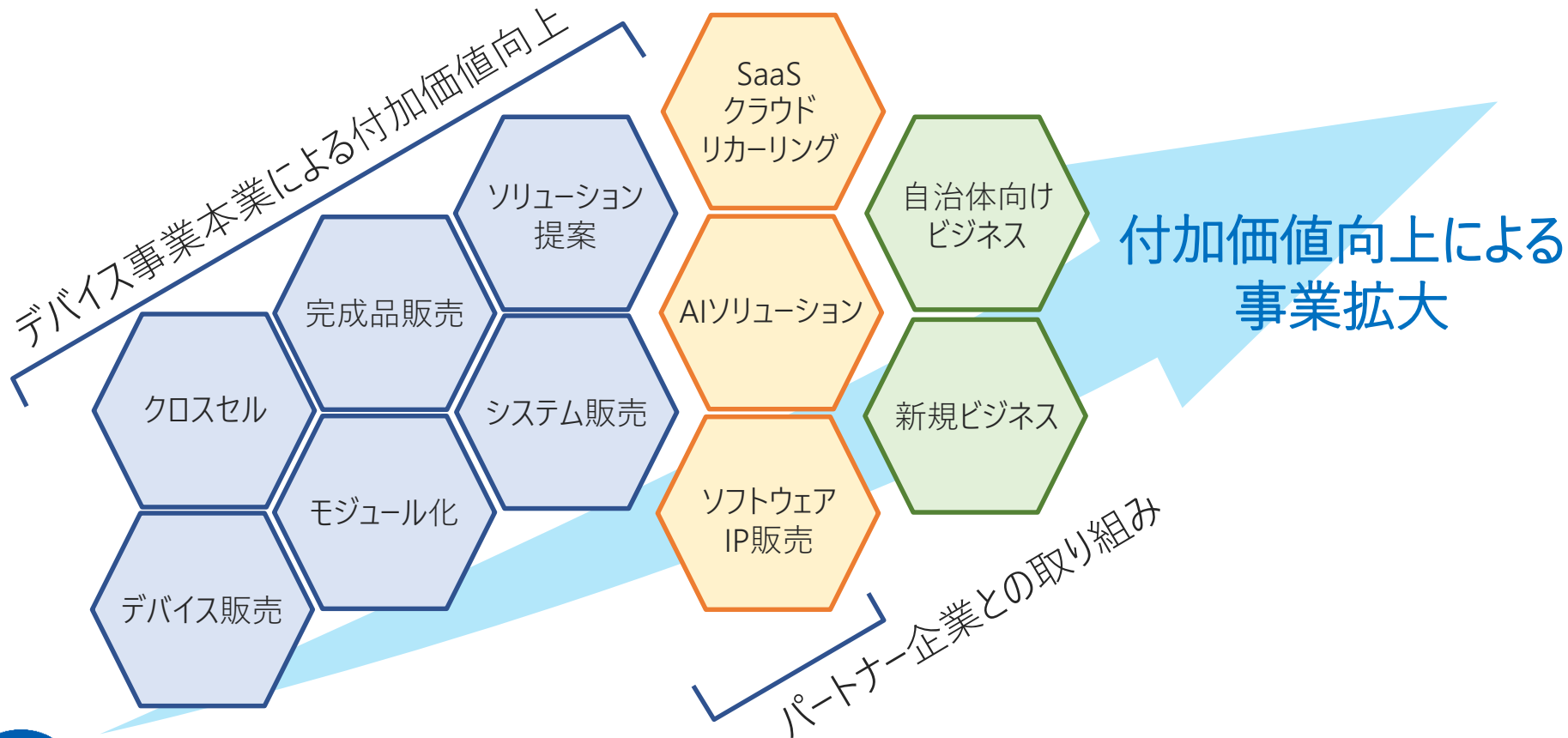
Restar Service Eco System (RSES)

商業施設での消費者行動、購買傾向分析による顧客への付加価値向上

事業構造変化と事業拡大



ビジネスモデルの変化と付加価値向上による事業拡大



エネルギー事業の取り組み

常務執行役員 今野宏晃
(バイテックエネスタ社長)



(株)バイテックエネスタ 会社概要



東京本社(品川)

社名	株式会社バイテックエネスタ
本社	東京都品川区東品川3-6-5
設立	2015年2月4日
資本金	5,000万円 (株)レスターホールディングス100%出資
事業内容	①再生可能エネルギー発電事業 ②関連機器販売 ③環境新事業推進
取締役	代表取締役 今野 宏晃 取締役 田口 貴行 取締役 三好 林太郎 監査役 薄井 大輔
業績	2021年3月期 売上42億6,000万円
社員数	国内23名 台湾5名
グループ企業	株式会社バイテックアグリパワー 株式会社バイテックエネスタ台湾 株式会社V-Power (電力小売)

脱炭素社会の実現への取り組み

脱炭素社会とは ⇒ 『CO₂実質ゼロ』社会の実現

【第6次エネルギー基本計画】

	(2019年 ⇒ 現行目標)	2030年ミックス (野心的な見通し)
省エネ	(1,655万kl ⇒ 5,030万kl)	約6,200万kl (省エネ前の最終消費：約35,000万kl)
電源構成		36~38%
再エネ	(18% ⇒ 22~24%)	
水素・アンモニア	(0% ⇒ 0%)	1%
原子力	(6% ⇒ 20~22%)	20~22%
LNG	(37% ⇒ 27%)	20%
石炭	(32% ⇒ 26%)	19%
石油等	(7% ⇒ 3%)	2%
(+ 非エネルギー起源ガス・吸収源 上記と同等の引上げ)		
温室効果ガス削減割合	(14% ⇒ 26%)	46% 更に50%の高みを目指す

出典：資源エネルギー庁資料より作成

■再生可能エネルギー導入目標

(kW)	導入水準 (21年3月)	FIT前導入 量 +FIT認定 量 (21年3月)	ミックス (2030年度)	ミックスに 対する 導入進捗率
太陽光	6,200万	8,100万	10,350~ 11,760万	約56%
風力	450万	1,190万	2,360万	約19%
地熱	61万	67万	148万	約41%
中小 水力	980万	1,000万	1,040万	約94%
バイオ マス	500万	1,030万	800万	約63%

- 電力の安定化、効率的に無駄なく再エネ利用
 - ・技術革新(デマンドコントロール・省エネ・蓄電)の遅れ

国内メガソーラー発電所

兵庫県三田 7.3MW



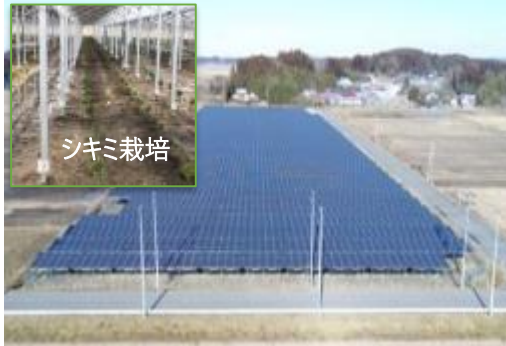
岩手県滝沢 20.8MW



青森県六戸 22MW

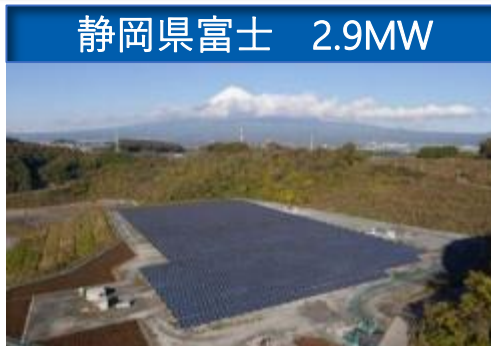


宮城県登米 ソーラーシェアリング



MEGA Solar

静岡県富士 2.9MW



愛媛県吉海港 5.5MW



ソーラーシェアリング事業

宮城県登米発電所
出力:2,520kW
2018年12月発電開始



営農：シキミ（7,200本）収穫重量：2.8t



シキミ栽培



特高建設予定地(2023年連系)
熊本県人吉市
出力 17.9MW (特高) 土地 約20万m²



農地所有適格法人
バイテックアグリパワー



紅あずま
シルクスweet

コンビニ販売
地元企業

15万本作付



バイオ燃料
NEXTソルガム



ヒュウガトウキ
育苗中



次世代アグリ事業



IoT

自治体新電力の取り組み

町内電源を地産地消、地域新電力会社を設立

●群馬県中之条町（事例）

中之条パワー
(地域新電力会社)

- ・形態
株式会社
- ・資本金
798万円
- ・設立
2015年 *日本初の自治体新電力

電力調達

電力販売

VITEC MEGA Solar

沢渡温泉第1太陽光発電所



沢渡温泉第2太陽光発電所



ハイテック中之条太陽光発電所



・主な供給先

中之条
町役場

ふるさと
交流センター

四万清流
の湯

出資者

一般社団法人 中之条電力

立場

町内発電事業者

役割

- ・地産電源の提供、再投資
- ・企業経営の管理監督

出資割合

100%

出資者

中之条町

地方自治体

- ・公共施設での地産電力利用
- ・民意反映、町民利益の監督

60%

出資者

株式会社V-Power

balancingグループ

- ・電力ノウハウの提供
- ・需給管理業務の受託、支援

40%

国内風力発電事業

北海道 & 東北 設置MAP



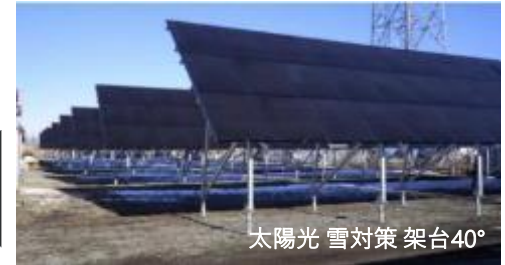
2022年3月時点 61ヶ所

【風力発電】

【ハイブリッド】

北海道
49ヶ所
秋田県
12ヶ所

北海道
(24ヶ所)
2022年計画
風力： 20ヶ所



オペレーション&メンテナンスサービス(自社管理体制)

☆全国に監視カメラ設置

- ① 自然災害状況確認 (積雪、台風、地震)
- ② 盗難抑止 (夜間は暗視モードで見張り)
- ③ 除雪&除草タイミング適切に判断



24時間リアルタイム監視体制



風力SCADA



バイテックエネスタのメンテナンス特徴



点検管理

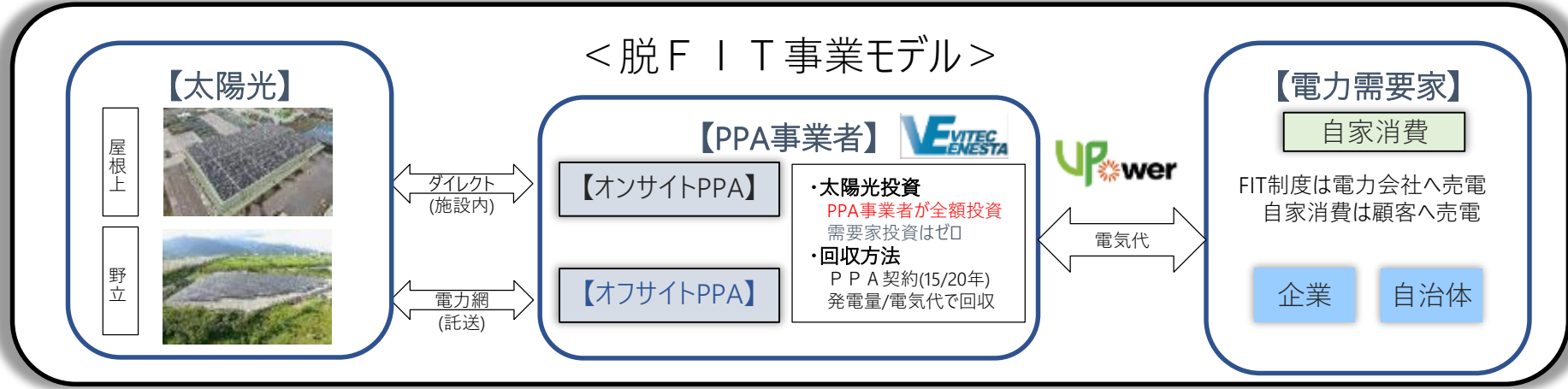


スマートメンテナンス



災害管理

太陽光『自家消費』P P A 事業



1. 企業価値の向上

「CO₂削減効果」

政府の脱炭素社会実現
2050年CO₂排出量
「実質ゼロ」宣言

SDGs 対策

2. 電気料金の削減

「補助金利用」

ー 環境省
ー 経産省資源エネルギー庁
補助金利用で安く電力確保

再エネ電力を同等価格

3. 災害対策

「停電時」電気利用

自然災害の増加で「電源の分散化」や「停電時の対策」
太陽光発電 + 蓄電池を設置

蓄電池設置



既設リパワリング計画及びセカンダリー市場検討

【リパワリング効果検証】

- ▼ 2013年の発電開始から、まもなく10年目を迎える
- ▼ 発電効率が徐々に低下（計画よりは低下していないが）
- ▼ 10年経過すると修繕コスト増／交換までの発電機会ロス大
- ▼ 新技術によるリパワリング／投資採算(投資対効果)
- ▼ 古い発電所ほど、FIT価格が高いので売上改善効果が大きい
- ▼ 10年経過がひとつの目途になる

◆リパワリング効果の検証（2021年度）

- ⇒ 改善効果の高い自社の発電所への水平展開
- セカンダリーのリパワリングによるビジネスチャンス拡大

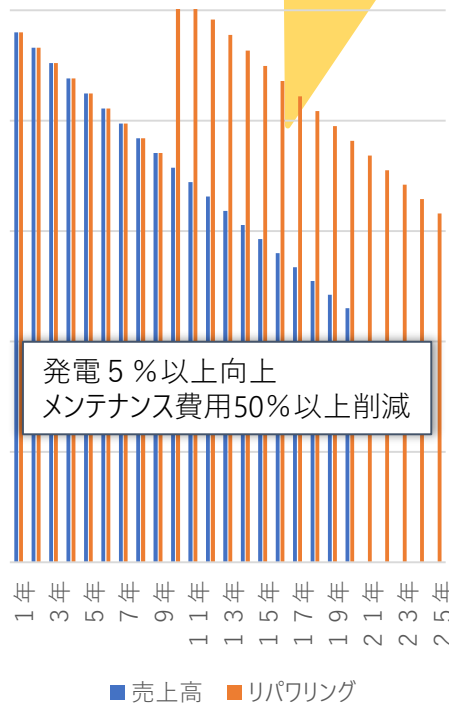
1. パネル&パワコン交換

2. オプティマイザー設置

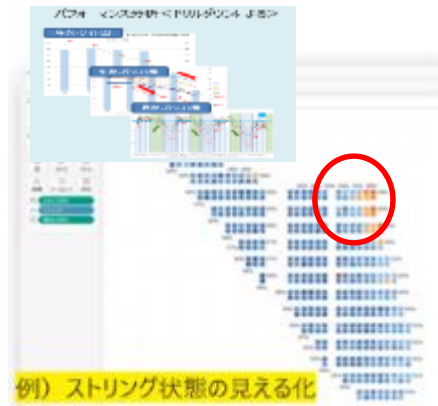
3. スマート診断

→既設発電量最大化とリパワリングノウハウの蓄積

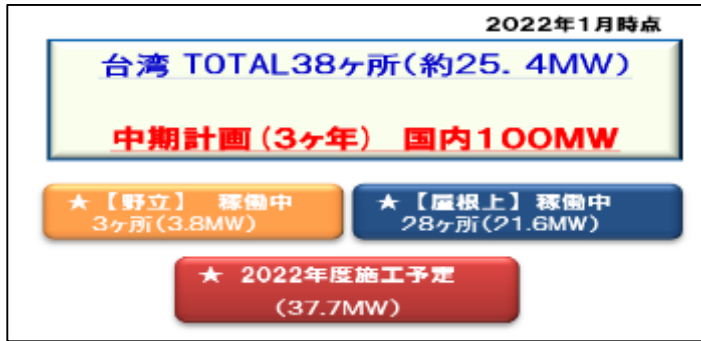
新技術による リパワリング効果



AI技術による 効率的メンテナンス



台湾 太陽光発電所設置状況

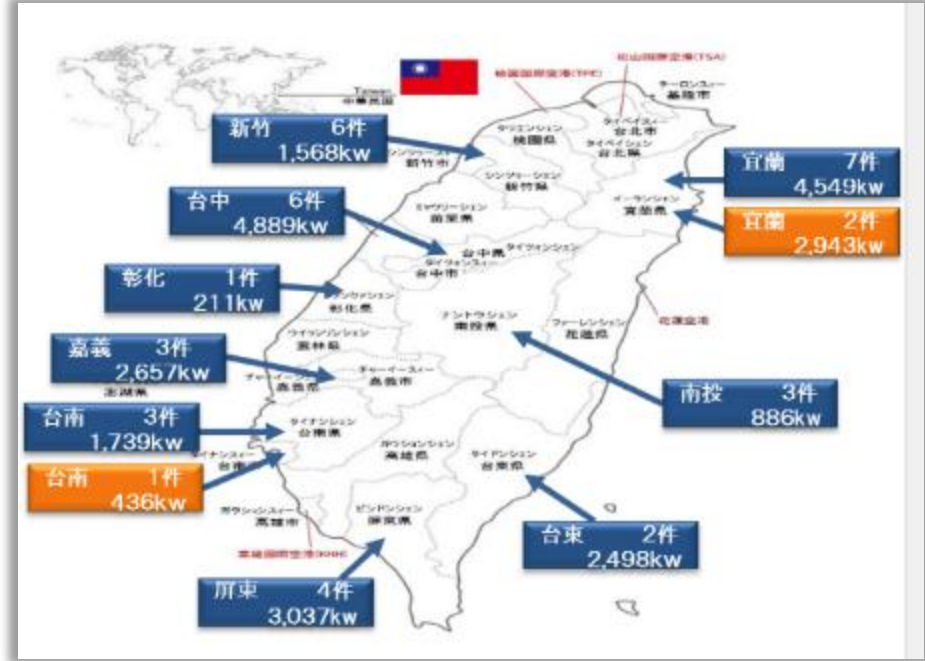


【弊社がグローバル展開に台湾を選択した理由】

- ①アジア圏の中でFIT制度&開拓余地があり電力会社が1社独占
- ②台湾の土地賃借に係わる法規制が日本に酷似していた
- ③レスターグループの現地法人が存在し日系メガバンクのサポート

【台湾再エネ発展/罰則条例】

- 大口電力契約者の定義 5,000kW以上の電力契約者
- 再生エネ電力の利用義務 電力契約に対する割合の10%
- 対応方法 2025年までに対応が必要
 - ①再生可能エネルギー発電施設設置 (義務容量分の設置)
 - ②グリーン電力の購入 (義務容量×2,500kWh)
 - ③蓄電池の設置 (義務容量分を設置)
 - ④義務化相当分の代替料金の支払 (義務容量×2,500kWh×4.06円)

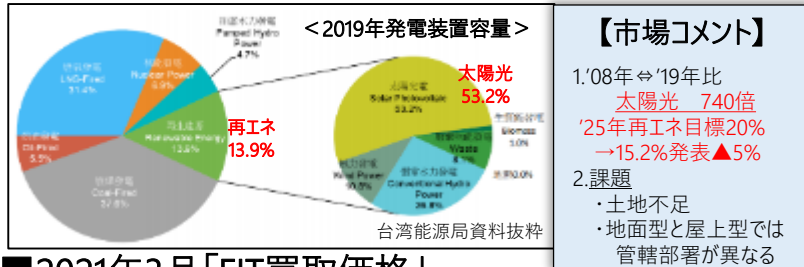


台湾 再エネ市場動向とNEXT台湾戦略

【台湾 再エネ市場動向】

■2025年「エネルギー・ミックス」政府目標

	原子力	火力	天然ガス	再エネ	2025年 27GW	
2019年実績	6.9%	43.1%	31.4%	13.9%	太陽光 20GW	
2025年目標	0%	30%	50%	20%	風力 5.5GW	その他 1.5GW



■2021年3月「FIT買取価格」

	種類	容量別 (kw)	価格 (NTD)	備考 (+インベニア)
太陽光	屋上	1-20	5.8620	・台湾製パネル ・回収費用 ・地域
		20-100	4.4671	
		100-500	4.0408	
		500~	4.0408	
	地面		3.9383	
	水上		4.3319	

【傾向】

設備費高騰のため22年は**買取価格up**
 (過去/年▲2~3%下落)

・台湾北部は**15%up**
 ・台湾製パネル使用**6%up**

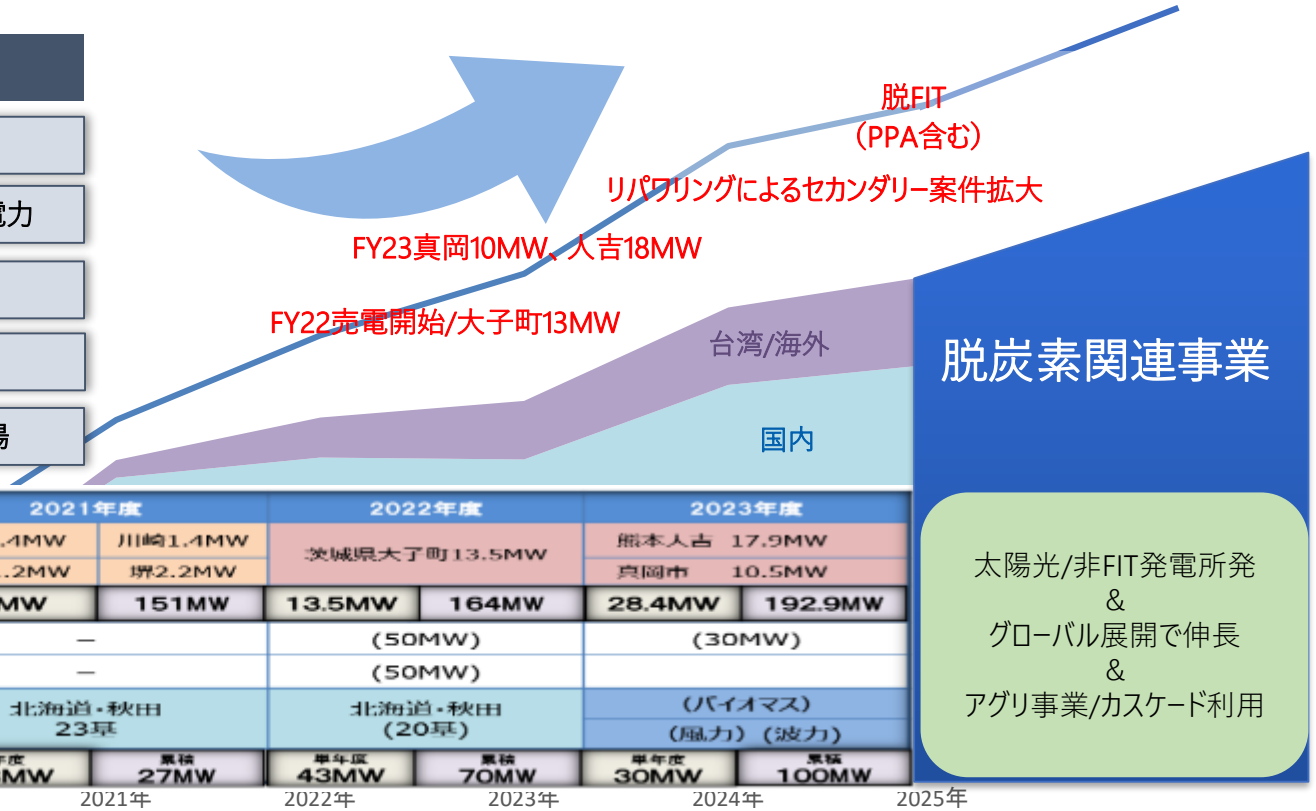
【NEXT台湾戦略】

1. 特殊事業ライセンス取得(個別案件別)
 特高(2MW以上)発電所の開発を行えるライセンス
2. 新電力事業(PPS)ライセンス取得
 小売電気事業者としての事業者認定
3. ソーラーシェアリング/複合ビジネス展開
 養殖、アグリ事業ニラ・コーヒー栽培
 FIT太陽光発電所拡大への新たな分野開拓
4. 学校 & 公共施設入札案件獲得
5. 台湾電力AFC(自動周波数調整)対応の蓄電池システムの入札への参画準備
 蓄電の自動周波数制御(AFC)補助サービスは蓄電の高速充放電の利点を活かしパワーグリッドの周波数の安定性を維持させる施設として活用、今後拡大する

バイテックエネスタの成長軌道

主たる事業

- I. 国内 太陽光発電事業
- II. グローバル太陽光発電&新電力
- III. 風力発電・他再エネ事業
- IV. 新規事業開発(バイオ燃料)
- V. リパワリング&セカンダリー市場



項目		2021年度		2022年度		2023年度	
国内 太陽光 (メガソーラー)	日田	2.4MW	川崎	1.4MW	茨城県大子町		13.5MW
	熊谷	1.2MW	堺	2.2MW	熊本県人吉		17.9MW
半年度	累積	7.2MW	151MW	13.5MW	164MW	28.4MW	192.9MW
商談	メガソーラー	-		(50MW)		(30MW)	
	自家消費	-		(50MW)			
国内 小型風力 (その他再エネ)	北海道・秋田 23草		北海道・秋田 (20草)		(バイオマス) (風力) (波力)		
台湾 太陽光	半年度	18.3MW	累積	27MW	半年度	43MW	累積
				70MW	半年度	30MW	累積
						100MW	

■ 営業利益 (国内)
 ■ 営業利益 (グローバル)
 — 売上高



<お問い合わせ先>

レスターホールディングス | R 部

Mail to : irpr@restargp.com

<将来の見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

実際の業績は、様々な外部要因、内部要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動並びに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。

本資料・データの無断転用はご遠慮ください。

